

木漏れ日の檻

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止





ここで暮らす
子供たちの間で
囁かれている
一つの噂がある



山の中に建つ
小さな孤児院
ヘファーハット



あの…僕っ

左右の木の
間から差し込む
光に照らされた
この場所で
想いを
告げ合った
二人は…



教室の裏手…
一つだけ抜けている
植木の前



院を出ても
離れ離れに
なることは無く

生涯を
共にすることが
出来る…と

ニーナのことが…
好きだ!

僕がこの孤児院に
引き取られたのは
5年前

よろしくねっ

年上のニーナに
面倒見の良かった
姉の姿を重ねていたの
かもしれない



強盗に家族を殺され
心を閉ざして
しまっていた僕に

諦めずに何度も
話しかけてくれた
女の子…それが
ニーナだった

リック

僕は次第にニーナに
心を開いていき…
いつしか恋するようにな
っていた

ニーナは僕の事
まだまだ子供だっ
て思ってるかも
しれないけど…

院を出て働いて…
立派になったらまた
ニーナと一緒に
暮らしたい…!!

僕が絶対に
幸せにするから…

リック…

だから…
その…っ

ぎゅっ

ありがとう
リック…っ

私も
大好きだよ…っ

それからの日々は
全てが輝いて見えた

リック

お互いの好きな物
好きな事
将来の話：

いろいろな事を
語り合った

異性の宿舎への
立ち入りは普段
「ルール」で
禁止されているが

リック！
見て見て！

ヒッ

そうして
1ヶ月が
過ぎた頃…

僕の勉強を見る
という名目で
ニーナが院長から
許可を貰ってからは

僕の部屋で
会うことも
多くなった

…リック聞いた？
アベルとフランが
院を出たって話



里親...



え...
そうなの？

急に里親が
決まったんだって

新しい家族のところ
引き取られたみたい
お別れくらい
言いたかったのに...



想いを告げ合った
二人は必ず一緒に
なれる...でしょ？

う...
うん...!



僕達やっぱり
それぞれ別の家
に行くんだよね...

そしたら
ニーナとは...

リク...



大丈夫だよ
リクがああ場所
で告白して
くれたんだもん...

がッ...



キュ...

ん...?



ドキ...

必ず一緒に...

ドキ...



ドキ...



ふふっ
ファーストキス
リクにあげちゃった



がぼ...

ニーナ...!!

きゃん!?



ドキ

ドキ





でも
おっぱい吸われるの
気持ち良い...っ
私の身体こんな
敏感だったんだ...

あっ
ははは

ん...っ♡
リクったら
赤ちゃんみたい...

ちゅっ

ははは

ははは



はま...

ごめんニーナ...
僕もう...っ

はま...

はま...



あっ...



これリクの...
すごい膨らんで...

ははは



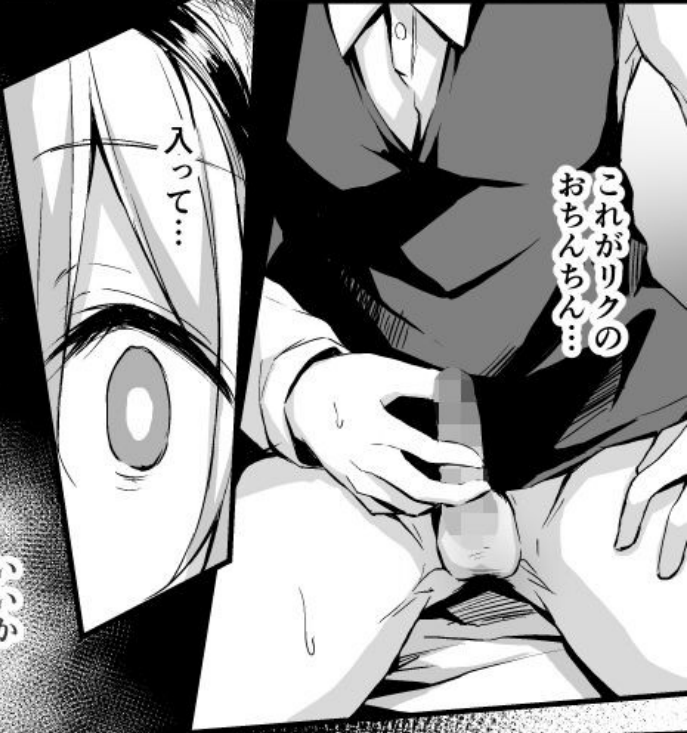
うん...
私の初めて
リクにもらって
欲しい...

来て...

フムッ



いいか
ニーナ...



入って...

これがリクの
おちんちん!



ぐちゃ



私のために…

い…ッ



大切に取って
おきなさい！



ここだけは
誰にも奪わせては
いけないぞ



はあッ

な…なに…
今の…

はあッ

え…っ？
ど…どうしたの
ニーナ…？



嫌ッ



う…
うん…

続きはまた
今度にさせて…？



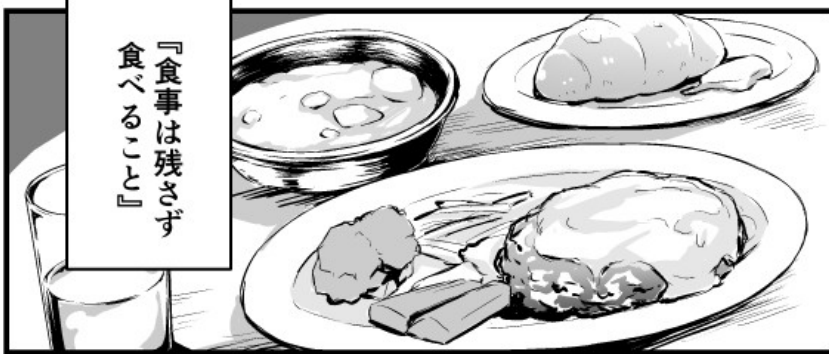
ご…ごめんリク
まだ心の準備が
出来てなかった
みたい…



『異性の宿舎への
立ち入り禁止』



ヘアードットでは
生活するにあたって
いくつかの『ルール』が
決められている



『食事は残さず
食べる』



その中の一つが
この食堂の座席

毎月ランダムに
男女がペアで
向かい合わせに
なるよう配置され

シスター達によって
それぞれ食事が
用意される



いやあ…
幸運を
実感してた

どうしたの
リク…?



そして今月の
僕のペアは…

ん…?



リクも早く
食べないと…

ほら
このシチュー
すぐく…



なにそれ
変なの



どうしたの…!?
昼間から様子が
おかしいし
何か病気とか…

だ…大丈夫
最近よく怖い夢を
見ちゃって
寝不足なのかも…



…っ!?
おえ…っ

ニーナ…!?



残りは僕がこっそり
食べちゃうから
ニーナは
安静にしてて…!

リク…

うん…
ありがとう



まだ
少し残ってるし…
なんとか頑張って
残りも…

無理しちゃ
駄目だよ
ニーナ…!!

カチャ..



ニーナの
匂い…



うっぷ…
流石にお腹
いっぱいだ…



ニーナ
大丈夫かな…



あれ…なんで…
身体が熱い…
ニーナのこと
頭から離れない…

ドン



そうだ
昼間ここで
ニーナと…



ニーナ…



うう…女子宿舎に
忍び込んだなんて
院長先生にバレたら
怒られるだろうなあ…

ハイッ



扉も壁も
男子の方よりずっと
しっかりしてるし…



女子の宿舎って
こうなってるんだ…

そういえば
ニーナみたいに女子が
男子宿舎に出入りする
ことはあるけど

男子がこつちに
来たって話は
聞いたこと無いかも…



あ

…え？

中から声が…

〜ン



ギ



ここ…
ニーナの部屋…!



良い子だ
ニーナ...

今日もたっぷり
寝てやるからな

な...なに...?
これ...

まったく
昼間お前たちが
盛り出したときは
焦ったぞ

暗示を
かけておいて
正解だった

誰...?
ニーナに
一体何をして...

こらこら
駄目じゃないか…
お客様の邪魔を
しては

おお
彼はやはり
来たか

ええ…ニーナの
食事に手を付けて
いたのでしやと
思っていました…

ガッ

そのまま
縛っておけ

かしこまり
ました

何で…っ
院長先生達が…
こんなこと…!?

ふむ…予定より
少し早いが
仕方ないか

好色家の中には
若い女を恋人の前で
甚振ることを
好む方々がいてな

はっ
はっ

ヘアアーハットは
そういった
お客様向けに

お前たちのような
人間のつがいを育て
売るための
人身売買施設だ

子供達の中から
相性の良い男女を
引き合わせ

購入された子供達は
お客様の玩具として
一生を過ごすことになる

恋愛感情を育む様子を
プロモーションとして
お客様へ公開し…

食事に混ぜられた
薬で強制的に
発情させられ…

あの方はお前たちの
告白の様子を見て
大変気に入られてな
ああして毎晩
ニーナを
躡けられている

ぐ…っ

とっ



ニーナの食事を
口にしたお前も
身体に変化が
あっただろう

リク

混濁した
意識の中

飼い主の
匂いや声を
徹底的に
刷り込まれる



ニーナ...
意識が戻って...

なんで...私
こんな格好で...

り...
リク...?

なに...して...



記憶が
混乱しているな

薬の摂取量不足で
中途半端に
意識が戻ったか

なに...っ
やだ...

はっ...

はっ

思い出させて
やろう

やめ...っ

何これ...っ
頭がパチパチって
弾けて...

お腹の奥が
きゅんって...

この味...
この臭い...

私知ってる...

そうだ...
最近よく見る
変な夢...





誰かの声と
汗の臭い…

頭はボーっと
していて
はつきりとは
覚えてないけど…



身体中を何かが
這い回ったり



気持ち
悪いのに

毎日毎日
刷り込まれて…



何かを舐めさせ
られたりして

身体が疼いて
力が入らない……

いい娘だニーナ
身体は誰が主人か
しっかり覚えていて
ようだな

キスだけで
こんなに
濡らしよって

ひひっ
相変わらず
綺麗な処女膜だな

お前の大好きな
リク君のために

ここだけは
奪わずにおいて
やったんだぞ
ニーナ

お前も……

初めては
恋人に見ていて
もらいたいだろう？



彼もお前が
犯される姿を
早く見たくて
仕方ないようだぞ

だめ...

もう少し
慣らしてからと
思っていたが

う...うそ
待って...



私の女に
なる瞬間を彼氏に
見せつけてやれ



おお...
この感覚
何度味わっても
たまらん...
流石に
未成熟のマンコは
締まりが違うな

あぁ

あぁ

ほらリクくん
しっかり見なさい

大切な恋人が
大人になった
瞬間だぞ

ひひっ
流石は男を
喜ばせる為だけに
育てられた身体だ

今処女を失った
ばかりだというのに
肉ヒダがチンポに
吸い付いてくるっ

ぐっ
動くぞっ

痛っ

動かない

お隙い

ッ

ギ

ギ

ギ

ハ

RR

あ
ひ

ひ

ア

ア

あ

あ

ッ







乳首もコリコリに
勃起させてそんなに
気に入ったか？



まったく
こんなに良い穴
あんなガキには
もったいない



ははっ
おいニーナ



あのガキ
こっちを見ながら
羨ましそうに
勃起させてるぞ

私の玩具として
壊れるまで
使ってやるからな



私のチンポの形を
しっかり覚えておけ

これからは毎日
これを気持ち良く
させることだけを
考えて生きるんだぞ



チンポ狂いになっ
ていく姿を

今度はしっかり
恋人にも
見てもらおうな



あゝ



出すぞ…っ
子宮で全部
飲み干せ…っ

く…っ
膣が締まって…
搾り取られる…っ

以上は…

10/12

10/12

10/12



あ…ん

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



七…

七…





聞かせてくれ



失礼します
施設長様…



先日のお客様から
その後の報告が
届いておりますが…

ああ



おお
頼んでいた酒か
すまんなリク君
手が離せなくてな
そのままです
見ていなさる





お客様にも
大変満足して
頂けているようです



また使って
ください

はい

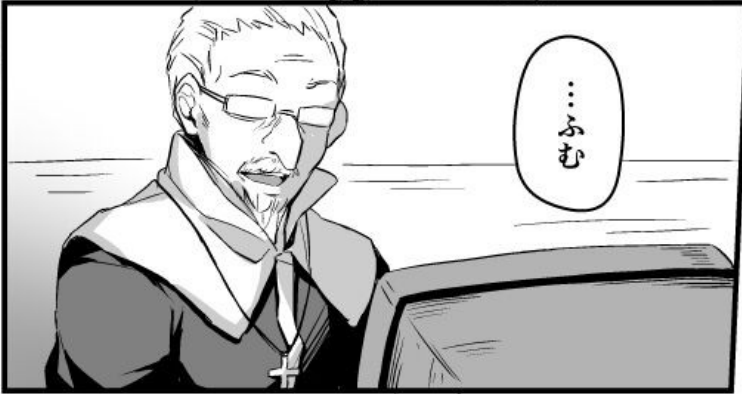
中々良い
使い心地だったぞ
射精して貰ったら
どうするか
教えたよな？

はあ

ぐろ

はあ

グイッ



…ふむ



そうか
それは良かった

はあ


ぐろ

はあ




かしこまり
ました


次のペアも
出荷の準備を
始めておけ




教室の裏手…
植木の合間から光が
降り注ぐこの場所で



ここで暮らす
子供たちの間で
囁かれていた
一つの噂…



想いを告げ合った
二人は



院を出た後も
生涯を共に
することが出来る…

あとがき

こんにちは、灯問(ひとい)です。

「木漏れ日の檻」を手にとって頂きありがとうございます！

今回は「寝取られるために育てられたカップル」がテーマとなっています。
普段と少し雰囲気を変えて洋風な世界観で暗示やキメセクなど
今まで同人誌で描いていない要素も入れてみました。

結果、導入が長い…！ページ数が増える…！風邪を引いて
実に3週間作業不能になっていたため原稿もかなりの修羅場でした…

ともあれ、ここまで読んで頂き本当にありがとうございました
楽しんで頂けていれば幸いです。

次回はまた現代日本を舞台に何かしら描くと思いますので
よろしくお願いします！

灯問

■奥付

発行日：2019年12月30日

製作者：灯問

連絡先：hitohikoreha@gmail.com

タイトル：木漏れ日の檻

サークル：灯色の研究室

- ・18歳未満の購入・閲覧を禁じます
- ・無断転載・アップロードを禁じます